

天溪 2019 年「スイス楽園ハイキング 10 日間」

「スイス楽園ハイキング 10 日間」を 7 月 9 日～7 月 18 日に行いました。

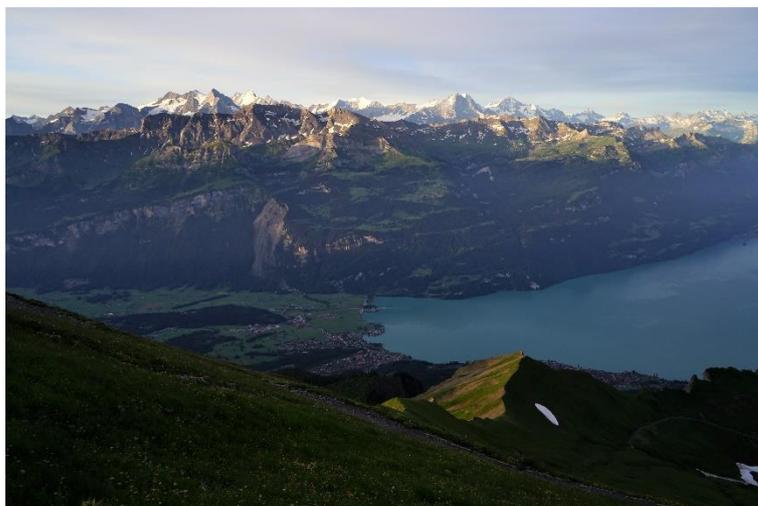
このツアーは 1 度スイスアルプスのハイキングを経験された皆様を対象に少々ひねった内容で、初めにアイガーなどベルナーオーバーラントの雄大な山々を望む山岳ホテル(ブリエンツロートホルン、メンリッヘン) や山小屋(ファールホルン)に泊まります。次に所をバリス州に移し、ベッドマーアルプでは眼下に広がる世界遺産のアレッチ氷河を見下ろしてハイキング。そして最後に 1982 年大清水トンネルに抜かれるまで 76 年間世界最長だったシンプロントネルを抜けてイタリアに入り、西欧第 2 位の高峰モンテロザ(4634m)が美しいモンテモロ峠(2868m)を越えて再びスイスのサースフェーに至ります。



(世界遺産アレッチ氷河 7/14 日)

○ブリエンツロートホルン

初日は長時間フライトの疲れを和らげる為に、湖とカペル橋(屋根付き橋)で有名なルツェルン市内の散策。翌日ベルナーオーバーラントの山並みを望む山岳ホテルのブリエンツロートホルンに登りハイキングをスタート。ここで立派な角を持つアイベックス(ヤギ属)に出会いました。何故か人を見ても悠然と構えている様は、餌付けならぬ塩付けされているからでは? ここから大井川鉄道と姉妹提携している SL 列車に乗りブリエンツ湖へ下り、インターラーケン経由でグリンデルワルド、そしてメンリッヘンに向かいました。



(ベルナーオーバーラント連山 7/11 日)



(アイベックス 7/10 日)

○ファールホルン

6月のスイス・アルプスハイキングツアー時は物凄い残雪でしたが、流石に可也溶けて高山植物が綺麗に咲いていました。とは言え7月も中旬にしてはまだまだ残雪多し、と言った状態。所で今夏の欧州は猛暑と言われていますが、この地を訪れたころは天候がパットせず寒いくらいでした。所がこんな天候が幸いしたのか20年この辺りを歩いていて初めての出来事が有りました。ファールホルン小屋から1時間ほど歩いた所で雷鳥のつがいと遭遇、素早く動きまわり撮影できなかったのが残念です。



(メンリッヘンの朝 7/12 日)



○世界遺産アレッチ氷河

ベドマーアルプでは世界遺産、全長 23Km の雄大な氷の流れのアレッチ氷河を上方から眺めながらハイキング。氷河に沿って歩くこと 約 2 時間、氷河とトレイルが分かれるころ、はるか遠方の氷上奥を凝視すると何やら小さな建物が。純白の稜線にポツンと突き出す建物はグリンドルワルドの登山電車でおなじみのユングフラウヨッホのドームでした。



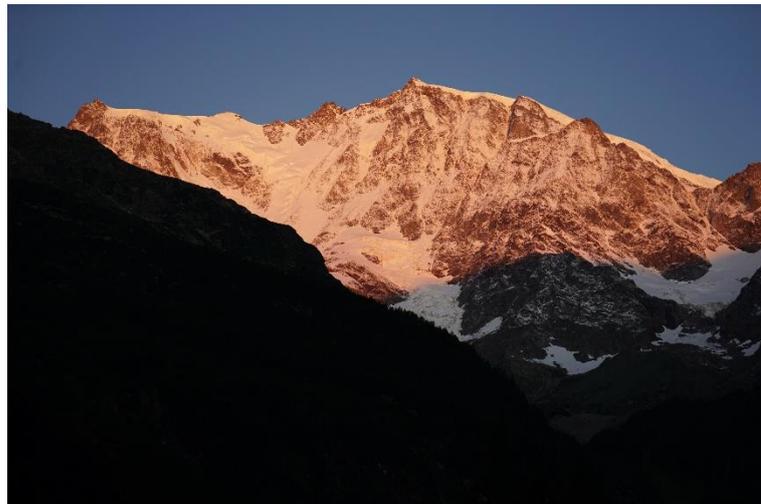
(アレッチ氷河 7/14 日)





○イタリア/スイス国境越え(モンテモロ峠)

日本では欧州の猛暑が1月以上も続いている様に思われがちですが、このツアー中は結構涼しい日が続きました。イタリアの避暑地マコガーニャに向かう7月15日の朝、窓を開けると山々は新雪をいただき真白に！恐らく標高2400m辺りまで雪が来たことでしょう。この降雪は一過性の現象で、それ以降は快晴が続き、モンテローザの東壁が美しいマコニャーガからサースフェーは素晴らしい景色が堪能できました。



(朝焼けのモンテローザ 7/16日)



○おまけ

サーズフェーから帰国する予定が「ツェルマツでマツターホルンを見たい」と言う熱いリクエストが有り可能性を検討。まず天気、そしてチューリッヒからのフライト時刻を調べると翌日は快晴、そして 2 時間ほど滞在可能。結果、短時間ながらツェルマツに寄ることになりました。時間が無いので マツターホルンが一番均整が取れて美しい、と言われるスネガ展望台に地下ケーブルで登り雄姿を眺めました。



(スネガ 7/17 日)

天溪の 2019 年 夏前半のツアーはこれで終わり、8 月下旬からモンブラン、ピレネー、チロルのツアーが始まります。

天溪/赤沼